

目次

1 面

戦争は最大の人災・人権侵害だ！  
参院選で一人でも多くの戦争屋を落とそう

大山歩

2 面

2025 年夏季醸金へのご協力を

〈活動家集団 思想運動〉常任運営委員会

中東を燃やしているのは誰か  
イスラエル・アメリカのイラン爆撃批判

大村歳一

沖西ネット東京行動に参加  
全国で反戦・反基地の強固な闘いを

岡本茂樹（福岡）

3 面

首都圏の団体が防衛省に申し入れ行動  
沖縄の米兵による相次ぐ性暴力事件をなくすため、政府に対し実効性ある対策と具体的  
検証、地位協定の抜本的改定を求める

西田議員の沖縄の平和教育冒涇に抗議！  
これは日本の平和運動全体への挑戦だ

阪上みつ子

川柳

笑い茸

催物案内

4 面

壊憲 NO！96 条改悪反対連絡会議の行動  
首相官邸と農水省で怒りの「コメ騒動」

編集部

農水省への申し入れ書

労働者通信

公務学校現場の非正規労働者の現状と問題点について  
酒井さとえ（教育合同労働組合書記長）

原発事故被災者の声（47）

マイナカードの悪徳と原発事故の無責任  
帰還してもほどなく亡くなる方が増えている  
國分富夫（原発事故被害者 相双の会）

5 面

連載 拡大の一途をたどる戦争の危機と労働者の貧困  
われわれ労働者階級はいかに闘うべきか（2）

日本の情勢に見る資本主義の限界

二瓶久勝（元国鉄闘争共闘会議議長）

前照灯

男女平等は123年後

## 6面

丸木美術館の岡村幸宜さんが明大で講演  
「原爆の図」は観客との無限の共同制作

伊集院隆史（明治大学学生）

朝鮮半島南部スタディーツアーに参加  
歴史の真実を知ることが闘いの糧に

高梨晃嘉（かながわ歴史教育を考える市民の会事務局長）

## 7面

世界民青連第21回総会がナミビアで開催  
帝国主義に対抗する青年の連帯を

新岡佑太（日本社会主義青年同盟中央本部）

## 8～9面

連載 第三世界のなかのレーニン思想  
——レーニン没後100年とこんにちの世界⑤  
アフリカの革命運動における前衛

林裕哲（朝鮮大学校外国語学部准教授）

## 10～11面

総聯結成70周年記念アンサンブル公演  
「民族独立の精神」が紡いだ芸術の祭典

楫西隆

「栗津邸（1972）の過去現在未来」展  
『思想運動』の表紙となった作品も

鶴野恵一

ドイツ農民戦争の遺産  
デューラーとミュンツァー

ジェニー・ファレル（文芸批評家）

『日本文学の扉をひらく — 第四の扉』（立野正裕著）をよむ  
——「芥川」という補助線を引いて

牧子嘉丸（HOWS受講者）

展示会案内＝画廊コレクションによる〈山下菊二展〉

## 12面

紙つぶて  
“令和の米騒動”の示すもの

二瓶一夫（福島県・三春町）

頂門一針

インド洋上に誕生した「赤い」政権

断想『肝っ玉おっ母とその子供たち』

—— 2025年5月の文学座公演から

秋葉裕一（早稲田大学名誉教授）

編集部発